

## 口蹄疫の 防疫対策は

妻鳥公一議員

宮崎県で発生した口蹄疫は20万頭ともいわれる家畜が殺処分となった。同県の畜産農家の被害は大きいと考える。15年前に本別町の一戸で口蹄疫が発生したときには、拡大を防ぐことができた。

町として、口蹄疫発生をくい止めるための防疫対策をどのように考えているのか伺う。

高薄町長

口蹄疫から、酪農・畜産業を守るため、関係機関と対策会議を開催している。本町では消石灰の散布、公共施設や農業関係機関への消毒マット設置、畜産農家へ出入りする業者に消毒の協力など、防疫対策の徹底を図ってきている。

なお、全町的な予防対策のひとつとして、6月中旬のイベント等は、主催者と協

議して、中止の措置を取っている。

## 公営住宅内部の 営繕についての 考え方は

妻鳥公一議員

町は昨年から公営住宅外壁の塗装と屋根補強を行っている。住宅を長持ちさせることは大切なことである。

公営住宅には高齢者世帯も多く、終の住処となっている。入居者が快適に暮らせるために、住宅内部の営繕をどのように考えているのか伺う。

高薄町長

公営住宅の内装や水まわり設備等の小修繕は、入居者の申し出により調査を行い対応している。

入居者が自ら破損したものは負担を願ひ、その他は町が修繕を行っている。なお、1年未満の入居者については、入居時点で改装しており、消耗品についても入居者の責任はないも

のとして、町の負担で修繕を行っている。

## 町民の命を守り、 安心と安全の ために

荒木篤司議員

今定例会で、条例を新設してまで、清水赤十字病院へ融資する理由とは何か。管内の公立病院はどこも不採算で公費で穴埋めしている。幸いに本町は、同病院がその役割を果たしており、町は財政的に恩恵を受けている。しかし、

公立病院(日赤含む)の役割を考えたととき、不採算診療科目を抱えるのもしかたないが、融資以外で支援する考えはないのか。

高薄町長

清水赤十字病院は医療法で定められている公的医療機関であり、また、本町医療の中核として長い間尽力いただいております。従来から設備支援等を行ってきた経緯がある。

これらのことから、町民

の医療を守る上で、町として運営に対して、支援すべきと考えている。

また、町民の健康を支えるという面から、他の医療機関についても、できる限り支援をしていきたいと考えており、医療懇談会で経営状況等を伺っている。支援のあり方については、今後、十分に検討していきたい。

## 道東道延伸と 町の取り組み

荒木篤司議員

道東道は、来年に夕張までつながり、札幌までの距離が短くなるが、むしろストローク現象で人が吸収されるのではないかと。

観光客増加を期待する向きもあるが、このままでは十勝清水一Cの利用増は期待できない。

清水特産の井を武器に客を呼び考えのよつたが、大掛かりなパーキングエリアをつくり、道東に出入



「牛玉ステーキ井」の発表会には多くの人が出席。集客が期待される。

りする人達をターゲットにした大きな構想に取り組むべきと考えるが、いかがか。

高薄町長

十勝清水一Cの利用は年々増加しているがストローク現象等、心配される面もあり、何か手をうたなければならぬと考えている。

本町で開発されたご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ井」は、他町からも関心が高く、年間で2万食の販売を目標にしている。

パーキングエリアについては、東日本高速道路(株)に要請をした経緯があるが、一定の距離間が必要であるため、建設はでき

ない旨の返答があった。

本町への集客については、住民の意見をはじめ、今年から設置する観光アドバイザーや産業活性化専門委員の意見を参考にしながら、今後、検討していきたい。

## 掲載以外の一般質問

■原 紀夫 議員

- ・公共施設の統廃合
- ・清水公園活性化プロジェクトの進捗状況

## 閉会中の 委員会 活動

総務文教常任委員会  
地域交通システムについて  
その他所管に関する事項について

産業厚生常任委員会  
高齢者福祉について  
農作物の生育状況について  
その他所管に関する事項について

議会運営委員会  
議会の運営とその諸規定について  
議長の諮問に関する事項について